



～部活動報告～

女子バスケットボール部

何事をするにも体力とバランス感覚が必要ですから、日頃のトレーニングでからだ作り・動き作りに取り組んでいます。

毎年1年生全員が初心者なので、この時期まではルール理解と基礎技術の習得に追われていたのですが、ようやくバスケットボールらしいゲームができるようになってきました。去る1月16日に行われた新人戦では、龍大附属平安高校と対戦しました。試合には敗れましたが、全員が出場し、それぞれの持ち味を発揮したり課題を見つけたりすることができました。また、プレッシャーをかけられたときのボール運びや新しいチームディフェンスなどのチームとしての課題も明らかになりました。現在はその克服に向けて努力しているところです。引退した3年生や卒業生もたびたび指導にきてくれ、力を貸してもらっています。自分が先輩達に学んだことやバスケットボールの楽しさを伝えるためにも、来年度新入生がたくさん入部してくれることを楽しみにしつつ毎日練習をしています。

女子ソフトボール部

～主将よりコメント(金森 和)～
部員数は5人と少ないのですが、「ENJOY SOFTBALL」「声100%」「全力疾走」の3つをモットーに毎日頑張っって練習をしています。昨年7月に行われた口丹総体では2年連続で優勝することができました。

現在、春季大会に向けての厳しい練習もみんなで声を掛け合ながら取り組んでいます。試合では、どんな強いチームとあたってもしっかり練習をしていきたいです。

野球部

野球部は現在24名で活動しています。新チーム最初の秋季大会初戦は突破したものの、その後は敗退。持っている力が十分に発揮できないままの結果に悔しい思いをしました。その後、練習試合、冬季のトレーニングに精力的に取り組む体格もひとまわり大きくなってきました。間もなく現2年生にとって最後のシーズンが始まろうとしています。今年のチームも投打ともにレベルが高く、上位進出が十分に狙えるチームです。まずは、春季大会で結果を出し、夏には「甲子園」を狙います。北桑田地域が熱く盛り上がる野球部の活躍に大いに期待ください。

女子バレーボール部

●第27回京都府立高等学校バレーボール女子選手権大会
(府立校大会)予選リーグ戦
2月13日(土) 会場:山城高校体育館
2月20日(土) 会場:南丹高校体育館
2月21日(日) 会場:鳥羽高校体育館
成績・結果 対西乙訓高校 対山城高校

1月24日に西乙訓高校と練習試合をして、数セットを取ることができました。現在2年生5人と1年生1人の6名でゲームをしています。新たに、1年生から数名と次年度新入生から数名に入ってもらい、北桑田のバレーを継続したいと考えています。今年度は、周山中学、少女バレーと一緒に練習する機会を持ちました。次年度はさらに回数を増やして地域のバレーボールの活性化にも繋がればと部員一同思いを持っております。

卓球部

●11月14日(土)
市部公立学校対抗 団体
予選Bブロック 最下位
●1月11日(月)
市部公立学校対抗 個人
7名参加 1回戦敗退

女子ソフトテニス部

平成21年度は、6名の元気な新入部員を迎え、2年生4名・3年生4名と共に、活気あふれる練習が行われました。他校や周山中学との練習試合を通して、実戦経験も多く積むことができました。

練習の成果は、着実に上がってきています。

特に、インドア大会のブロック予選で準優勝という、輝かしい成果を残すことができました。

来年度は、さらなる飛躍が期待できそうです。

平成21年度の主な成績

- 北西ブロック選手権・IH個人ブロック予選(5/9)出場
- IH団体市部予選(5/16)出場
- 口丹波総合体育大会(8/29) 団体3位
- 夏季大会(8/22) 決勝トーナメント進出
- 選抜大会個人 ブロック予選(9/19) ベスト20
- 府大会(10/10) 出場(2ペアが1回戦突破)
- 選抜大会団体 府大会(11/7) 出場
- インドア大会 ブロック予選(11/21) 準優勝
- 府大会(12/20) 出場

ワンゲル部

昨年の初雪が佐々里に積もったという京都新聞の報道の一週間後の木枯らしが吹く中、高等学校登山選手権の下見に出かけました。広河原スキー場近くの、松上げの巨木がある広場をスタートして小野村割岳(932m)を経由して、京都大学の芦生演習林事務所に向かう途中道に迷ってしまいました。間違えるときはこんなもので、全員が自分たちのルートを疑いませんでした。かなり進んでからでも地図を確かめながら、「今、自分たちはここだ」という始末です。思いこみとは恐ろしいものです。やがて、どうもこのルートは怪しいなと思い始めたときはかなりはずれていて、引き返すだけの時間がありません。佐々里峠に通じる自動車道が見えたので、ひたすらその方角に向かって進みました。そうしたらどこかで見たような風景に出ました。松上げの巨木がありました。「松上げはあちこちにあるんだ」と思ったら、なんと朝のスタート地点でした。偶然にしてはできすぎた迷子でした。下見の大切さと道を間違えるときの教訓になりました。おかげで三位に入賞しました。

写真はバレンタインデーの日に美山の最高峰の長老山(917m)に登ったときのものです。樹氷がびっしりついて美しい眺めに疲れも吹き飛びました。



陸上競技部

昨年の10月、片山拓先生が講師として着任されました。片山先生は短距離走のスペシャリストで、専門の指導者のいなかった陸上競技部の指導を引き受けていただきました。長いみとおしに立った練習計画のもと部員の先頭に立って、実際に走り、ウェイトトレーニングなどもこなされ、理論的な解説をされる指導に、部員達は今までより、はるかに充実した練習をつみ重ねています。顧問として、春からの試合が少しまちどおしく思われる毎日です。片山先生に陸上部の今後について、見とおしなどをうかがいました。

「昨年10月末より陸上競技部の練習メニューを担当させて頂いております片山です。まずは、私にこのような素晴らしい機会を与えてくださり、部活動の運営をしてくださっておられる顧問の川辺先生、稲葉先生に感謝させて頂きたいと思っております。部員達は現在、春先の試合に向けて、目標を明確に定め、それぞれの課題を克服するために日々練習に励んでおります。これから更に進化した陸上競技部をお見せできればと思っています。」

放送部

●11月1日
第26回京都府高等学校総合文化祭放送部門でAP(オーディオピクチャー)作品、『もっと使おう 京都の木』を出品、最優秀賞に輝きました。

●11月15日
第29回近畿高等学校総合文化祭放送文化部門が京都テルサで開催されました。本校放送部員2名もスタッフジャンパーを着込んでアナウンス・朗読の計時を担当してくれました。

●12月20日
京都総合文化祭で優秀な成績を残した部活動、個人を表彰し、その成果を発表する「京総文クライマックス」が、右京ふれあい文化会館で行われました。放送部門ではアナウンス、朗読、AP、VM各部門の最優秀賞の発表、表彰が行われ、AP部門で最優秀賞を獲得した本校放送部の作品『もっと使おう 京都の木』も高芸文連賞を受賞しました。

剣道部

北桑田は古くから尚武の気風に満ちた土地柄です。本校の剣道部は男子のみ、合計10人という小さなクラブです。ですが、地域の伝統を受け継ぎ、いくつもの大会で強豪校を相手に少しもひけを取らない戦いをしてきました。特に卒業学年の3年生は、平成20年度の府立高校剣道大会での優勝など多くのすばらしい経験を積んできました。

現在は1、2年生のみ、男子6人で毎日稽古に励んでいます。夏には久美浜での他校との合同合宿、冬には高知県での錬成会に参加しました。また、地元だけでなく遠方の学校とも試合稽古を行う中で、試合で通用する力を高めてきました。

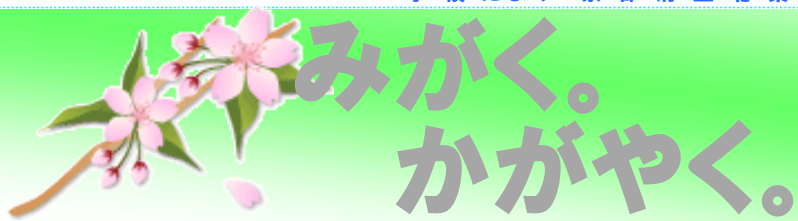
今年度の府立高校剣道大会では、団体準優勝でした。口丹大会では団体戦で優勝、個人戦でも部長の川上正夫(2-1)が優勝でした。冬の口丹高校剣道錬成大会でも、団体戦で優勝しました。まだまだ先輩諸氏の力には及びませんが、大会で活躍し「さすが北桑田」と言われる剣道を目指して稽古に励みたいと考えています。

自転車競技部

3月23日から27日まで北九州市で全国高等学校選抜自転車競技会が行われます。

一昨年は総合5位、昨年は悲願の学校対抗総合初優勝を果たし、今年も男子6名(1年3名、2年3名)女子3名(1年1名、2年2名)が京都府代表として出場します。年末から熊本での強化合宿、1月は寒かったものの例年より少ない積雪で昨年の1.5倍の距離を乗ることができました。昨年のチームのスピードにはまだ及びませんが全員が全国入賞めざし冬の厳しい練習と向き合っています。2月もしっかり乗り込み、3月中旬に広島、愛媛への試合、遠征合宿で仕上げ北九州での活躍を誓っています。目指すは個人入賞は勿論、学校対抗で総合8位以内入賞です。

また、卒業する3年生6名はそれぞれ早稲田、明治、日本、同志社、立命館大学、大阪産業大学への進学も決まり内5名が競技を続けます。ジュニアからアンダー23へとカテゴリーはかわりますが、インカレ、国体や全日本選手権で活躍した先輩卒業生に負けず熱い走り活躍を期待しています。



京都府立北桑田高等学校

〒601-0534 京都市右京区京北下弓削町沢の奥
tel 0771(54)0022 fax 0771(54)0310
http://www1.kyoto-be.ne.jp/kitakuwada-hs/



ごあいさつ
校長 佐藤 幸雄

Congratulations!

厳しい寒さもようやく峠を越し、そこかしこで鳥の鳴き声が聞こえてくる季節となりました。三年生はいよいよ卒業となります。北桑田高校で培った「心と体の知」が卒業後の人生を輝かせることを願っています。

現代は科学・計測万能のようですが、最近の企業にはむしろ人間の五感を利用した戦略を用いるところが出てきているそうです。タオルの開発に人間の触覚を重視する。天気予報に人間の勘を使う。食品の包装に匂いを付けて嗅覚によって購買欲求を刺激するなど、私たち現代的な人間も意外に原始的な感覚によって行動が規定されるようです。

動物、とくに霊長類の研究などを読むと、私たち人間の知的な欲求は、むしろ原始的な欲求だと思えます。その欲求が素直に発揮でき、学ぶことが心と体の喜びとなるような知のありかたをこの北桑田の地域で模索あるいは創造していきたいと思っています。ここから巣立つ皆さんが、そのような方向で生涯学び、成長していくことを期待しています。

卒業生へ贈る言葉～3学年担任団～

『卒業生に贈る言葉』3年1組担任 安藤 孝司

水泳の北島選手がオリンピックで2つめの金メダルを獲りました。その陰にはコーチの適切な指示以外にスポーツ心理学のドクター（脳科学者）の指摘があったとされています。どんな選手でもヒトはもうすぐゴールだと思うと、脳が自動的に筋肉に「お疲れ様」という指示を出してしまうそうです。

オリンピックの直前の大会で、ゴール 10m手前まで世界新記録のタイムで泳いでいたのに、急に失速してしまうというのです。そこでドクターが「ゴールはタッチして電光掲示板を見たときに『本当のゴール』だと思え」とトレーニングしました。そのおかげでオリンピックでは世界新記録で優勝することができました。

この話は大学に行ってもスポーツを続ける人だけでなく、ひょっとすると日常のいろいろなところでも教訓的であるかもしれません。最後に「まだまだゴールじゃないよ」とお伝えしたいと思います。『本当のゴール』を見つけて、頑張ってください

『祝!御卒業!』3年2組担任 長谷川 靖

卒業おめでとうございます。この2年間担任をさせていただき、みなさんとたくさんの時間を過ごせた幸運に心から感謝しています。

この日を迎えるまでには様々な出来事や色々な人々と遭遇してきたことでしょう。その度に喜んだり笑ったり悲しんだり悩んだり怒ったり・・・としてきたんでしょね。

人生は分かれ道だらけ。本人も意識しないうちに色々な選択肢の中から道を選びながら進んでいるようなものですよね。考えてみれば不思議なものです。一つでも違う道を行ってれば、全く違う状況に置かれ、今の友達もまったく知らない他人になっているかもしれません。そんなことを思うと、自分が現在ここに在り、こうして在るのも、この道を進んできたからということになります。だから・・・『これでいいのだ!』と思います。

僕は日本一幸せな男です。北桑田高校へ来てよかった。みんなを担任出来てよかった。こんないい学校はない、そして、こんないい仕事はない、と思っています。この道をきてよかった。片思いかもしれませんが『これでいいのだ!』そう思っています。

人生これからが本番ですね。健康で勤勉で誠実に生きていってください。



『卒業おめでとう!』3年3組担任 秋山 千代子

学校って何でしょう?何のために学校に行くのでしょうか?「勉強をするため」というのはもちろんでしょう。しかし学校にはそれ以上に大切な役割があると私は思っています。

勉強だけなら自分一人でもできます。本もあれば、インターネットだってあります。それに対して、学校では様々な人と共に学び、過ごさなければなりません。この小さな社会は、大きな社会へ出る前のいわば予備校です。ここで社会のルールやマナー、そして人間関係を学ぶのです。勉強だって自分のためだけにするのではなく、社会の役に立つためにもするのです。そんなことも含めて、本当の意味での「学校での勉強」はできたでしょうか。そして「卒業」はできたでしょうか…。

こんなことを伝えたいと思いながら、この3年間みんなと接してきたつもりです。いよいよ社会という現場に出ます。壁にぶつかることもあるでしょうが、高校でもこんなこと言われたなあと思い出しながら成長していきたく思います。卒業おめでとう!

★農業クラブ活動報告★

第60回日本学校農業クラブ全国大会が10月7日、8日に茨城県で開かれました。本校からは意見発表に1名、農業鑑定競技区分「林業」に2名が出場しました。農業鑑定競技において岡 泰誠(2-1)が見事優秀賞を受賞しました。

- 出場者
- 農業鑑定競技
- 森林リサーチ科2年 金森 和
- 岡 泰誠(学校代表)
- 意見発表の部 「環境」部門
- 森林リサーチ科3年 寺坂 悠里(近畿代表)



また、11月13日には森林・林業交流研究発表会が行われ、森林リサーチ科3年の梅原 快斗(3-1)ほか4名のグループが研究成果の発表を行いました。その結果、最優秀賞に当たる近畿・中国森林管理局長賞を受賞しました。

★国語科 コンテスト★

- 高校生のキャリア短歌/キャリア生活文 第4回コンテスト
- 短歌部門：団体賞受賞
- 京都府立北桑田高等学校担当：大石)
- 生活文部門：佳作受賞
- 「私の進路」河合春香(3-3)
- 団体賞受賞
- 京都府立北桑田高等学校担当：大石)

★美術科 コンクール★

- 美術の授業で制作した作品や美術部の活動で取り組んだ作品を、以下の作品展、コンクールに出品しました。
- 第26回京都府高等学校総合文化祭
- ポスター原画コンクール
- 優秀賞 佐藤達樹(3-2)
- 第41回教育美術展覧会 34人 43作品を出品
- 第3回南丹美術工芸教育展
- 京都府知事賞 小島太朗(2-3美術部)
- 京都府教育委員会教育長賞
- 玉野銀志朗(3-2美術部)
- 佐伯香帆(3-2)